

# 日韓児童文学討論会



- ・二〇一〇年四月三日(土)
- ・大阪市立梅田東生選学習ルーム
- ・主催——オリニの会・オリニほんやく会

4月3日、庭の桜が満開の大阪市立梅田東生選学習ルームで、韓国から児童評論家の李在馥イジュボクさんと曹月礼チョウウォルレさんをお迎えして、日韓の児童文学をどう読むか、討論会が開催されました。「韓国の子どもたちと読書」「植民地時代を描いた日韓の作品」「相互の翻訳状況と今後の展望」など、通訳を交えて語り合いました。

主催は、韓国・朝鮮の児童文学を翻訳をしているオリニの会です。参加者は、約20名。主催者側のほかに日本児童文学者協会の西山利佳、真鍋和子、相川恵美子、李慶子イキョウシヤ、キム・ファンさんの各氏、アジア日本児童文学センターの畑中圭一さん、北十字星文学の会会員等が参加しました。司会は主催団体の仲村修さん。通訳は下橋美和さん、李延炫イジョンヒョクさんです。